

NO.30 2014.5

# チャレンジ

発行者 特定非営利活動法人 チャレンジドステーションクジラ  
〒196-0003 東京都昭島市松原町3-6-7 アートヒルズ105  
法人:TEL/FAX 042-542-7288  
事業所:TEL/FAX 042-569-6433  
Email npo-kujira@9jira.com  
URL http://www.9jira.com

## 冬季パラリンピック

## ソチ大会 閉幕!



世界45か国が参加した第11回冬季パラリンピック・ソチ大会が閉会し、日本はアルペンスキーで金メダル3個・銀メダル1個・銅メダル1個、バイアスロンで銅メダル1個を獲得しました。

過酷な条件下でのスピード感溢れる雄姿と技術力の高さに感動された方も多いことでしょう。日本選手20人一人一人に出会いやドラマがあり、何より競技への情熱と大会までの努力に敬意を表します。

残念だったのは、視覚障害の選手が参加できなかったことです。前を滑って進路を伝える「ガイドスキーヤー」がいなかったのが理由とのこと。特別な資格は不要だが、選手への配慮や合わせて滑る実力が求められることや練習から合宿・大会に参加できる職業に就いている人はなかなか見つからない。その上、ガイドの交通費や宿泊費を選手が負担しなければならない現状ではガイド以前に選手自体少ない。

「パラリンピック」は、1948年のロンドンオリンピック開会式当日にイギリスの病院で行われた競技会が起源であり、そもそも戦争で負傷した兵士のリハビリのためでした。その後1960年のローマ大会から同一都市開催となり、1988年のソウル大会から「パラリンピック」{パラレル(平行)+オリンピック=もう一つのオリンピック}の名称となりました。

しかしながらオリンピックと比較して認知度が低く、盛り上がり欠けたのはとても残念なことです。放映も民放はなくNHKだけでした。2020年は待ちに待った東京大会です。より多くの人に「パラリンピック」を認知されることとスポーツとして正に評価されることを願ってやみません。

## お花見、来年に乞うご期待

4月6日は、お花見の予定でした...

前日には微妙な天気予報。それでも大丈夫! 晴天とはならなくても、お花見の間は降らずにいてくれるだろう。そんな気持ちで当日の朝を迎えました。

どよ〜んとした曇り空。『なんとかお花見をさせてー!』と桜の神様にお祈りしながら、公園に向かいました。

公園に着くとポツポツ...。そのうち瞬間に大雨となってしまいました。もう、どうにも出来ません。苦渋の決断ではありましたが、お弁当をお持ち頂き解散と致しました。ほとんどの方にお弁当をお渡し終えた頃は小雨になり... あれあれ! 雲の切れ間に青空まで見え隠れしてはおりませんか。駅から戻って来てくれた方と最後まで残って職員と一緒に手伝いをして下さった方が公園内に入られました。参加予定だった全員の方と連絡が取れ、片付けを済ませ私もみなさんの後を追って公園に入りました。

桜は満開を少し過ぎた頃だったでしょうか。でも、まだまだ美しい桜を観る事ができました。チューリップとムスカリが愛らしく彩り、雨の後のお花はキラキラと水滴を光らせていました。時々、ポツポツと雨に降られながらも、公園の中で楽しくおしゃべりをしながら食べたお弁当は格別の味わいでした。今年もお母様方同士でいろいろお話が出来る良い情報交換の場になるだろうと思って居りましたから、とても残念でなりませんでした。クリスマス会での再会を約束し、みんなで帰りました。来年こそ 青空の下でのお花見を 期待して!



当日、雨が上がった  
昭和記念公園のチューリップ

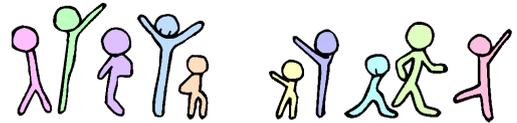
# リレーコラム

## 第25回



今回のリレーコラムは、  
シダックスオフィスパートナー株式会社  
業務部の佐藤功晃様よりご寄稿いただきました

シダックスオフィスパートナー株式会社  
業務部 佐藤功晃



2011年4月に特例子会社を設立して早いもので丸3年になります。

ここ調布センターは、シダックス株式会社の事務センターになります。

現在、私が担当しています会計業務チームで働いているスタッフは11名になります。内訳は精神障害7名、身体障害1名とパートの指導員2名、私を含め11名体制で業務に取り組んでいます。

業務内容は、郵便物の開封仕訳、会計伝票・支払い依頼表の並び替えファイリング、支払い明細表の封入発送、日報入力、月報・受領書チェック、金券ギフト券・クレジットカウント等の業務に携わっております。

障害スタッフの就労定着に関しては、決して順風とは言えませんでした。

もともと、障害者雇用と関わりの無かった私がどのように、スタッフと向き合い3年間に取り組んできたか、少し振り返りたいと思います。

初年度はスタッフ3名からの業務スタートになりました。業務自体は少なかったのですが、期日までに業務を終わらせる事に毎日追われ、頭の中では障害特性を理解していたつもりでしたが、いざ業務にとりかかると、思いどおりに進まず、何時も1人ピリピリ険しい顔で仕事をしていた事を思い出します。その頃の私は、自分の経験、判断基準でスタッフの能力を決めつけ、業務のシフト、割り振りに偏りがありました。決していい指導員とは言えませんでした。

また、毎月仕事の振返りを実施していましたが、相談されたことに、どのようなアドバイスをしているのか、その場で回答出来ない自分がいました。恥ずかしながら支援担当者へ、些細な事柄でもなりふり構わずよく相談をし、話を聞いてもらいました。どちらかと言うと、スタッフの相談より、私自身の悩み相談のほうが多かったような気がします。

当時、就労支援担当者からこのようなアドバイスを頂きました。

褒めてあげてください。

自信をつけさせてあげてください。

正直、期日までの業務遂行が出来ていない状況で、何を褒めるのか、何を自信つけさせるのか、私にはそのアドバイスを受入れる事が出来ませんでした。

現在のスタッフ個々の個性、能力、可能性、ありのままを受入れること、スタッフとの信頼関係の大切さに気づくまで、私が変わる事に、少し時間が必要でした。

今では、スタッフの取り組んできた業務の質・正確さ・結果が評価され、各部署から、次の業務依頼相談の声がかかるようになりました。

これからも様々な色々な事があると思いますが、みんなが『明るく』『楽しく』『元気よく』仕事に取り組み、自立した社会人を目指すように、就労支援担当者の温かいご支援とアドバイスを頂きながら、スタッフ共々仕事に取り組んで参りたいと思います。





## 利用者の方から・・・



私は、東京電力ハミング・ワーク株式会社で働いています。会社に入ってから今年で4年になります。

仕事の内容は花を育てて出花したり会社の花だんの花の手入れや、イベントで花のはん売をしています。

私は花を育てることがとても楽しいです。でも私は人とのつき合いがとてもへたなので時々トラブルをおこしてしまいます。そんなときに「チャレンジステーションクジラ」の方たちが、私の話を聞いてくれて、会社の人にせつめいをしてくれるのでとてもたすかっています。仕事はとても好きなのでこれからもっといろいろな事ができるようにどりよくしていきたいと思います。「チャレンジステーションクジラ」の方たちこれからもよろしくおねがいします。がんばります。 (栗原彬)



### ナイトサポートと ホリデーサポート のお知らせ

就労をしている皆さまが会社の帰りや休日に気軽に相談できるように「ナイトサポートとホリデーサポート」を行っております。尚、予約制ですので必ず電話で予約をしてからご来所下さい。(電話番号 042-569-6433まで)

ナイトサポート (17:15~21:00)			ホリデーサポート (10:00~16:00)	
5月	2日	金曜日	5月18日	日曜日
6月	6日	金曜日	6月15日	日曜日
7月	4日	金曜日	7月20日	日曜日
8月はありません				
9月	5日	金曜日	9月21日	日曜日
10月	3日	金曜日	10月19日	日曜日

### NPO法人 チャレンジステーションクジラ賛助会について

NPO法人 チャレンジステーションクジラ賛助会へ多数のご協力をいただきましてありがとうございます。今後も一層の努力をして参りますので宜しくお願いいたします。

賛助会は随時受け付けております

年会費 1口 2,000円  
 連絡先 042(542)7288 お振込みの場合は下記までお願いいたします。  
 振込先 青梅信用金庫昭島支店  
 普通口座 店番 **015** 口座番号 **0711599**

特定非営利活動法人 チャレンジステーションクジラ 理事 東條 芳男



# 加納正 障害者雇用の見聞録



今号は「本や大将」(本屋大賞じゃないから)がキーワード。  
「わーどうしよう」なんて言わないで。



年間100冊読破が目標の小生が勝手に選定した、本や大将(ベストよん?4か)の発表があります。  
本紙がお手元に届いている、今は春爛漫、桜の时序でしょうか。今年は年明けからしごと(ギャラにならない仕事で私事?)と大雪の祟りに苦しみました。捨てた故郷、越の国で、「どんなに風雪が厳しくとも、雪の下では、春に花を咲かせる準備をしているんだよ」と言っていた、ばあちゃんを思い出しました……(クスン、オイラの春はいつ来るの?)「すべての人の花が咲く時季、場所がきつと用意されているんだよね、ばあちゃん」花が咲くには、太陽と水と土(養分)が必要だから、自分の花が咲くためにも、人の花が咲くためにも、太陽と水と土(養分)の役割もあるんだ。少し、感情移入し児童文学作品みたいになってしまいました。…お付き合いください。

**1月17日 晴れ** 都内で「これからの障害者雇用を考える」シンポジウムに参加。厚生労働省で設置されている、障害者雇用促進法改正に伴って設置された2つの研究会①「差別禁止・合理的配慮の提供の指針の在り方」研究会②「地域就労支援の在り方」研究会を軸としての議論でした。②は現実的に、就労支援を必要としている障害者、企業への支援をシステム、マンパワー、財政でどう展開するかが求められています。人員等増配の要求が目立ち、サービスの対象者へどう支援するかが見えないのではと感じています。平成24年度にトライアル雇用については「ハローワークが必要と認め」と、厳しい制限があったのが平成26年度からは民間の職業紹介でも一定の要件クリアをすれば使えるとか。行政サービスの在り方が大雪のせいで、雪崩を打って崩壊するのか。「再度問う、誰のための、何のための行政サービスか」基本的な在り方こそ議論しないと。

## 見える障害、見せない障害、見えない障害

**2月8日 大雪** 都内で「就職について語ろう会」が「先天性四肢障害児父母の会」教育チーム主催で開かれました。1時間30分、大雪の中、神田まで電車移動、2時間講演、1時間懇談、復路は電車が止まり迂回しながら4時間以上かかりました。(講演料はもちろん交通費も辞退、その分、会で発行している本をいただきました。重い〜)大雪にやられたと思いましたが、全然寒くないのです。それは「先天性四肢障害児父母の会」の人たちと話ができて、嬉しくて、嬉しくてたまらなかったのです。1975年「先天性四肢障害児父母の会」は成立されています。

1985年、小生が「サリドマイドの障害者」の就労支援に関わっている時代に絵本「さっちゃんのみほうのて」が発刊され、すぐ購入、あふれる涙ともに読みました。今でも読み返しては、涙、涙なのです。懇談会では、東京の男子学生のひとりが義手(手首から先)を使用していて、使用した理由は「友達に障害の事を聞かれて、ショックで……」と発言、今後の進路の悩みが。大阪から、夜行バスで参加した女子学生は、「そんな奴おるんねん」と自らプールの監視員のアルバイトの経験を話したり、東京の高校生は、「今度スノーボーヤろや」とツアーに誘っていました。高校生、大学生が、思春期で障害があることで傷つくことも多々ありながら、励ましあっている彼らは、父母から社会へ巣立つ準備をしていました。機能を補完する義手でなければ、高額なお金を支払って、見える障害を見せない障害にすることは無いのです。(さっちゃん

が教えています) 後日、役員の方から「これからも父母の会の沢山のさっちゃんに力を貸して」と

書かれた丁寧な礼状をいただき、本当に大雪の中彼らに会えたことが、彼らの役に少しでもなれたらと、自分にとって幸な気持ちになりました。



## 2月15日 大雪 第12回東京都障害者技能競技大会(アビリンピック)開催が大雪のため延期。

SACEC(一般社団法人 障害者雇用企業支援協会)は、後援団体として企業へ参加募集の周知、ノベルティグッズの依頼等取り組んだだけに残念。ソチのオリンピックは雪が少なく開催が心配されていたが、コッチの東京アビリンピックは大雪で開催延期。人間が生活を営む時、環境の問題(外部要因)で社会的不利(ハンディキャップ)としてどうにもならないものがあるが、それらとどう、折り合いを付け自分が存在できるのか……………。



**2月21日 晴れ** 第23回全国特例子会社連絡会が全国から約300名の参加者で開催。SACEC、事務局として事前の準備と天気の心配。全国386社(2014.1月末 厚生労働省発表)から参加いただくとすると天候と交通機関が心配と言うか、当日キャンセルで赤字になったら大変。多くの方の参加と厚生労働省 藤枝課長、埼玉県立大学朝日教授の講演で多くの示唆をいただき、一安心。SACECで取り組んでいる「共生社会を創る愛の基金」事業を荒井副理事長が報告、懇親会では、各企業さんの情報交換が活発にされ、終了いたしました。資料コーナーで「地域で安全に暮らしていくために」の注文が殺到、プレゼン効果抜群でした。



**2月22日 晴れ** 今年は、障害者問題を取組んできた、団体等が節目を迎える年でもあり、電機連合神奈川地方協議会が60周年と障害者福祉活動40周年を迎えました。労働組合が福祉活動を通じ、社会福祉法人を取得、障害者雇用にも積極的に取り組んできました。障害者雇用システム研究会(会長 故西村晋二)から発展したNPO雇用部会も5月には100回定例会となる予定です。多摩地域障害者雇用企業連絡会も定例会議30回開催とともに、ティーボール大会を昨年同様、日野自動車さんのラグビー場で5月に開催予定です。

埼玉で障害者問題を取組、地域のネットワークの中心は「さいたま障害者就業サポート研究会」です。最初は全述の朝日教授ほか2人で立ち上げ、朝日さんの名前から、「サンライズの会」と称していましたが、今は「さいたま障害者就業サポート研究会」として活動。定例会場となっている、埼玉トヨペット(株) 本社 会議室で50回定例会が開催しました。さいたま市議会議員 でんだひろみ氏の講演とトークセッション、立食パーティーで懇親を深めました。

でんだ市議会議員は、4才の時小児麻痺により四肢障害がありますが、大学まで普通学校へ通う。仕事は、最初自宅に生徒に来ていただき、家庭教師(生活、移動は親かがり)。その後、塾の講師、施設長として働き、生活をされ、2003年さいたま市議会議員に、政令都市ではじめて女性車いす議員として、初当選し現在3期目。この間、OMIYAバリアフリー研究会として、「駅点検活動」を車いすで実施した見せる障害(?)で鉄道事業者と敵対関係にあったが、その後支援いただいた話題(当日電鉄関係の障害者雇用の特例子会社数社も参加)がありました。

また、議場の演壇が電動で上下するシステムやスロープを議会事務局が準備してくれたのに、他の議員から「金がかかってんだぞ」と野次られたが、野次った議員が病気で倒れ、復職後車いすで、その演壇を使っていることなど、障害を持ち、地域を変える取組は大変だなどと思い、同時に笑顔でいろいろな人と接していくことが共感と運動を創ることも学びました。





帰りの電車で、「おや」と思う光景に。お母さんと高校生くらいのお嬢さんが手を繋いで電車に乗ってきました。お嬢さんは、ご機嫌斜めか、足を延ばし、お尻からバタと電車の床に座りました。発達系の障害があることが分かりますが、周りの人は気にも留めません。立川で降りるとき、お母さんはリュックで常に手が空いている(開けている状態)です。さすがと感心したのは、つつい座っている本人の両脇に手をいれて抱きかかえ起こそうとしますが、それでは、立たせられないのです。まず、彼女のズボンの膝のあたりをつまみ→膝立ち姿勢に→前方に彼女少し押すと、体重が移動、そこすかさず抱き上げるとスクッと彼女は立ち上がりました。

何と言うテクニック、マッハ〇〇の速さ、本人もあつけにとられ、歩きだしました。しかし、残念、敵もさるもので、駅中の広いところで、今度は、声を発生し、お尻はもちろん、背中まで床に着けるではありませんか。お母さんは何事も無いかのよう冷静に対処しています。周りで30人位の人たちが「親が子供を虐待」しているかのような目で見ています。彼女の障害が見えないから。周りの奇異なものを見るような視線にさらされながら、必死のお母さんの気持ちが切ない。けど、どうにもできない自分自身にもつらい。見える障害、見せない障害、見えない障害の壁を無くさなければ。



## 本や大将 発表

「わたの推薦する本や、  
どうでっか、大将」  
→大阪弁風に  
(※は加納の寸評)



**特例子会社における障害者雇用  
～知的障害者雇用の実践事例 中川昭一  
(学苑社) 1,800円+税**

※ブリジストン、レオパレス21の特例子会社で障害者雇用を実践された、中川氏の実践。示唆に富む。必見の書。



**「さっちゃんのまほうのとて」  
先天性四肢障害父母の会 たばたせいいち  
(偕成社) 当時980円**

※絵本です。決して、人前で読まないでください。絶対、号泣しますから。多くの人に読んでいただきたい一冊です。私のバイブルです。



**「地域で安全に暮らしていくために」  
～犯罪防止、被害防止のためのテキスト～  
コロニー雲仙 200円**

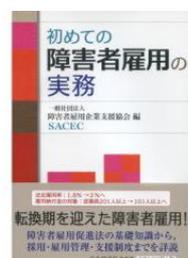
教育、福祉施設、企業で絶賛活用 SACECでは半年で、なんと2,000冊販売。20部以上の場合送料負担なしで送付します。⇒SACEC事務局へ企業さんへは研修メニュー、講師派遣 応相談 委細面談。

ご希望の方は  
チャレグジでも  
お求めいただけます



**「はじめての障害者雇用の実務」  
一般社団法人 障害者雇用促進協会 編集  
(中央経済社) 2,800+税**

※満を持して、ついに刊行、SACEC(一般社団法人 障害者雇用企業支援協会)編集。汗と涙 知恵と力の結集 (3/10)発売)



クジラ事業所でもご覧になれます